

富士宮市文化財年報

第7号

平成28年度



2018
富士宮市教育委員会

富士宮市文化財年報

第7号

平成28年度

2018
富士宮市教育委員会

例 言

- 1 本書は、平成 28 年度に実施した富士宮市内における文化財保護事業の概要をまとめたものである。
- 2 文化財保護事業は、文化財保存・管理事業、埋蔵文化財事業、郷土資料館事業、歩く博物館事業、その他の事業に分類した。
- 3 本書の執筆・編集は、富士宮市教育委員会教育部文化課及び埋蔵文化財センターの各担当（平成 29 年度）が行った。

4 平成 28 年度文化財関係組織

教 育 長	池谷 眞徳
教 育 部 長	芝田 英洋
文 化 課 長	佐野 宏幸
文化課参事兼埋蔵文化財センター所長	鈴木 祥元
主幹兼学術文化財係長	渡井 英誉
同 学 芸 員	保竹 貴幸 (文化財管理担当)
埋蔵文化財センター学芸員	永田 悠記 (埋蔵文化財担当)
同 学 芸 員	松本 将太 (歴史・民俗担当)
同 学 芸 員	深澤 麻衣 (埋蔵文化財担当)
同 嘱 託 員	馬飼野 行雄 (埋蔵文化財担当)
同 嘱 託 員	志村 和恵 (歴史・民俗担当)
同 嘱 託 員	鈴木 翔太 (埋蔵文化財担当)
同 嘱 託 員	増田 亜矢乃 (歴史・民俗担当)
社会教育指導員(郷土資料館長)	渡井 一信

目次

富士宮市文化財年報第7号の刊行にあたって	1
I 平成28年度の文化財保護事業	
1 概要	4
2 文化財保護事業一年の歩み	5
II 文化財保存・管理事業	
1 文化財保護審議会	7
(1) 文化財保護審議会の開催	
2 指定文化財整備事業	7
(1) 史跡「富士山」整備事業	
(2) 名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備事業	
(3) 史跡「大鹿窪遺跡」整備事業	
3 指定文化財保存管理事業	10
(1) 富士宮市文化財保護補助金の交付	
(2) 指定文化財保護対策事業	
(3) 文化財防火デー	
4 文化財指定事業	12
(1) 精進川の大カシワ	
5 未指定文化財調査事業	13
(1) 橋場庚申堂の祭典調査	
(2) 盆行事（川供養）調査	
(3) どんど焼き・小正月行事調査	
III 埋蔵文化財事業	
1 市内遺跡発掘調査事業（補助事業）	15
(1) 史跡「大鹿窪遺跡」（現地調査）	
2 発掘調査報告書作成	16
(1) 箕輪A遺跡	
(2) 大室遺跡	
(3) 柚野辻遺跡	
3 開発行為に伴う試掘・確認調査	18
(1) 大中里坂下遺跡	
4 富士宮市埋蔵文化財センター	21
(1) 施設概要	
(2) 企画展示	
(3) 関連講座	
(4) 現地説明会	

IV	郷土資料館事業	
1	展示	22
	(1) 常設展示	
	(2) 企画展示	
	(3) その他の展示	
	(4) 展示会関連事業	
2	資料収集・保存管理	24
	(1) 資料収集	
	(2) 保存管理	
3	古文書等解読刊行事業	24
	(1) 旧北山村役場文書刊行事業	
V	歩く博物館事業	
1	探索会	25
	(1) 市主催探索会	
VI	その他の事業	
1	問合せ対応	26
2	小中学校総合学習への対応	26
3	講師派遣	26
	(1) 富士山まちづくり出前講座	
資料 i	「富士宮の遺跡」展配布資料	27
資料 ii	「大鹿窪遺跡発掘調査現地説明会」配布資料	31
資料 iii	「大宮・村山口登山道」展配布資料	32
資料 iv	「わがまち 懐かしの風景」展配布資料	36
資料 v	「食の民具」展配布資料	40
資料 vi	第1回歩く博物館探索会配布資料	44
資料 vii	第2回歩く博物館探索会配布資料	45
資料 viii	各委員会等委員名簿	49
資料 ix	富士宮市内指定文化財等一覧	51

富士宮市文化財年報第7号の刊行にあたって

文化課長 鈴木 祥元

「富士宮市文化財年報」第7号の刊行にあたり、富士宮市における文化財行政の動きや富士宮市の文化財をめぐる出来事について、平成28年度を振り返ってみます。

1 世界遺産富士山の構成資産整備

世界遺産富士山については、構成資産である文化財の本質的価値を保存し、次世代に継承するとともに、その活用を図るため、平成24年3月に策定した「『史跡富士山』整備基本計画」、「名勝及び天然記念物『白糸ノ滝』整備基本計画」に沿って、構成資産の整備を行ってきました。

その整備について、平成28年度の実施状況を見てみますと、まず、山宮浅間神社については、平成27年度の整備に引き続き、遥拝所の立ち入り防止柵の洗掘防止、ひび割れ補修、門扉改修を行い、さらに新設照明4基、既設照明4基のLED化とサイン設置を行いました。以上により、短期整備は平成28年度をもって終了しました。

人穴富士講遺跡においては、平成25年度から継続してきました、人穴富士講遺跡の調査の成果を「史跡富士山 人穴富士講遺跡調査報告書」として刊行しました。また、現在立ち入りを禁止している洞穴の平成30年度公開を視野に入れ、整備のための実施設計と、洞穴の測量・地質調査を実施し、併せて、洞穴入口の岩盤保護工事を実施しました。今後は、洞穴内の整備や碑塔群の修復、歩経路の整備などを行い、発掘調査では階段脇に存在した鳥居の痕跡を確認するなど、遺跡が示す歴史を実感しながら、安全に見学できる環境づくりを進めていきます。

また、名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」では、展望場のほか、白糸自然公園への連絡通路などの整備が完了し、滝越しに富士山を望む景観や、白糸自然公園側からのアプローチなど、新たな魅力ある景観を創出することができ、平成28年度は、これらを含めた「名勝及び天然記念物白糸ノ滝周辺整備報告書」を刊行しました。なお、売店集約化に向けた周辺物件の調査業務と売店営業補償の調査業務は翌年度に繰り越しました。

各構成資産の整備については、ユネスコの世界遺産センターに提出された推薦書の付属資料である包括的保存管理計画に記載された整備・公開・活用の促進を具現化するものとして、今後とも取り組んでいくことになります。

また、世界遺産富士山の構成資産である富士山本宮浅間大社の南側で静岡県が建設を進めていた「静岡県富士山世界遺産センター」が、平成29年12月23日にオープンしました。今後は世界遺産センターとも協力しながら、世界遺産富士山の保護や市内の文化財の啓発を進めていく予定です。

2 文化財保護・調査等への継続的取組

富士山をはじめ、毎年続く世界遺産登録に日本中が沸き、世界遺産関係の文化財に注目が集まる近年ですが、歴史豊かな富士宮市には、他にも継続的に保護や調査に取り組むべき多くの文化財があります。

平成 28 年度は、文化財保護事業として国指定特別天然記念物「狩宿の下馬ザクラ」と県指定天然記念物「猪之頭のミツバツツジ」、同じく「西山本門寺の大ヒイラギ」の施肥・消毒を行い、文化財樹木の保護を図りました。

また、市内精進川の旧家にある「精進川の大カシワ」が、平成 29 年 3 月 24 日に静岡県指定天然記念物に指定されました。

埋蔵文化財発掘調査としては、史跡大鹿窪遺跡整備事業として、国指定史跡大鹿窪遺跡の発掘調査を行いました。この事業は、第 5 次富士宮市総合計画の前期基本計画の重点プロジェクトに位置付けており、平成 28 年度からの 5 年間で、史跡公園としての整備を行うものです。平成 28 年度は、「富士山縄文の里大鹿館」の北側の A 地区で、10 月 3 日から 12 月 28 日まで発掘調査を行い、成果として、竪穴住居と考えられる遺構が 2 ヶ所検出され、中央部・東側に向かって落ち込んでいる谷状地形が確認されました。また遺物は、縄文時代草創期から早期の土器・石器が約 1500 点出土しました。今後も、事業の推進に当たっては、世界遺産富士山の構成資産に追加登録される可能性も見据えながら、最古の段階の定住集落をイメージした史跡公園としての整備を進めます。

開発行為に伴う埋蔵文化財の確認については、柚野和平遺跡、谷外遺跡、丸ヶ谷戸遺跡などにおける試掘・確認調査を行いました。

また、歴史民俗分野では、旧北山村文書の解読を継続するとともに、盆行事をはじめとした民俗行事の調査を引き続き行うなど、各分野で重要な成果を上げることができました。

これら各分野での調査研究の成果を公表し、文化財に親しみと理解を深めていただくための取組として、平成 28 年度は、郷土資料館で「大宮・村山口登山道展」や「わがまち懐かしの風景展」、「食の民具展」といった企画展示を実施したほか、富丘地区、万野原新田地区、上柚野・猫沢地区での歩く博物館探索会を開催するなど、さまざまな形で、文化財についての啓発に努めました。



写真 1 精進川の大カシワ



写真 2 大鹿窪遺跡発掘調査説明会

3 埋蔵文化財センターの現状と今後

平成 28 年 6 月 1 日で、埋蔵文化財センターが開館 2 周年を迎えました。埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の発掘調査及び研究を実施し、出土品及び関連する資料を保存するとともに、資料を活用して富士宮市の歴史に対する理解を深め、市民の教育や、市の学術文化の発展に寄与することを目的としている施設です。

事業内容は、埋蔵文化財の調査・研究・整理及び出土資料の收藏、埋蔵文化財の展示、体験学習教室や講座などの開催であり、平成 28 年度には、土器などの常設展示のほか、「富士山世界遺産登録 3 周年記念 富士宮の遺跡展」や、「柚野の里まつり」における大鹿窪遺跡出土遺物の展示及び遺跡発掘現場での解説などを実施しました。

埋蔵文化財センターとしては、第一に、約半世紀にわたり行われてきた市内の埋蔵文化財の発掘調査による膨大な出土資料を集約・保管し、調査・研究・公開するという機能を果たすというところがありますが、さらに、埋蔵文化財を核としながら、民俗資料や文献資料も集約し、学芸員が常駐して調査・研究を行い、成果を生かした公開や講座を行うといった、文化財活用の企画を行う拠点としても機能していくという役割を担っています。引き続き、皆さんに親しまれる施設として機能するよう、その充実に努めていきたいと思っております。



写真 3 埋蔵文化財センター



写真 4 埋蔵文化財資料整理作業

4 むすびに

今が正念場である世界遺産富士山の構成資産整備をはじめ、多種多様にわたる文化財の保護や調査、整備など、待ったなしの課題が山積する当市の文化財行政ではありますが、今後とも、文化財の保護を図りながら、市内の歴史的、文化的資産の一層の掘り起こしに努め、調査研究の成果を市民の皆さんに還元することを使命として、さまざまな事業を実施していきたいと考えています。

今後、文化庁は、保存や管理が最優先だった文化財について、積極的な活用を打ち出す方針を固めています。守り伝えた「地方の宝」をどう磨き、訪日外国人客を含めた誘客に結び付けていくか。当市でも主体的な取り組みが求められます。

富士宮市の豊かな歴史を守り伝えていくために、これからも、関係者の皆さんのご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

I 平成 28 年度の文化財保護事業

1 概要

富士宮市における平成 28 年度の文化財保護関連事業の概要は、下記のとおりである。

〈文化財保存・管理事業〉

史跡「富士山」、名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」、史跡「大鹿窪遺跡」の各文化財について、今年度も各整備委員会等の指導を得て調査・整備等の事業を実施した。史跡「富士山」については、「山宮浅間神社」では照明設置等を行い、「人穴富士講遺跡」では溶岩洞穴「人穴」の安全対策として岩接着工事を行った。また、平成 25 年度以降の人穴富士講遺跡の碑塔群や富士講の調査結果をまとめた「史跡富士山 人穴富士講遺跡調査報告書」を刊行した。名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」では斜面の崩落防止のために岩接着工事を行い、平成 24 年度以降の整備事業の内容をまとめた「名勝及び天然記念物白糸ノ滝周辺整備事業報告書」を刊行した。

その他、文化財防火デー（1 月 26 日）における防火運動の実施や、市内指定文化財の保存・管理事業への補助金交付や未指定文化財調査等、文化財保存・管理事業を推進した。

また、平成 29 年 3 月 24 日には、市内精進川の「精進川の大カシワ」が静岡県指定天然記念物に指定された。

〈埋蔵文化財事業〉

国・県の補助金を受けて、史跡整備に伴う史跡「大鹿窪遺跡」の発掘調査を実施した。

平成 19 年度に実施した「箕輪 A 遺跡」と平成 22 年に実施した「柚野辻遺跡」の発掘調査、「大室遺跡」出土品寄贈資料や旧芝川町等で保管していた埋蔵文化財の関連資料の整理作業を行い、発掘調査報告書「富士宮市の遺跡 VI」を刊行した。

開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査を 18 件実施した。

埋蔵文化財センター事業として、土器等の常設展示や開館 2 周年記念の企画展示、展示関連講座「富士宮の遺跡の発掘と成果」を実施した。また、大鹿窪遺跡発掘調査に伴う現地説明会を実施した。

〈郷土資料館事業〉

郷土資料館において、常設展のほか、「大宮・村山口登山道」展、「わがまち 懐かしの風景」写真展、「食の民具」展の計 3 回の企画展を開催し、あわせて関連事業を開催した。

郷土資料館以外では、長屋門「歴史の館」で富士山信仰に関する展示等を行った。

資料収集・保存管理事業として、民俗資料等の収集や収蔵品くん蒸を実施し、古文書等解説刊行事業として、旧北山村役場文書の解説作業を平成 27 年度に引き続き実施した。

〈歩く博物館事業〉

歩く博物館探索会を3回実施した。1回目は富丘地区で実施し「東谷戸の庚申塔」「先照寺の庚申塔」などを探索した。2回目は万野原地区で実施し「二番堀」「万農庵跡」などを探索した。3回目は上柚野・猫沢地区で実施し「土井の川」「北原の道祖神」などを探索した。また、富士山の世界遺産登録3周年記念イベント「まちなか史跡めぐり」として、富士山本宮浅間大社周辺の文化財を探索した。

芝川地区の3コースについて、標柱や説明板を設置した。

〈その他の事業〉

市内の歴史・民俗等に関する問合せに対応したほか、小中学校の総合学習（富士山学習）への対応や、富士山まちづくり出前講座等の講師を務めた。

2 文化財保護事業一年の歩み

〈平成28年〉

- 4月3日 「橋場庚申堂の祭典」調査実施（橋場庚申堂）。
- 4月13日 時田遺跡埋蔵文化財確認調査実施。
- 4月25日 柚野和平遺跡埋蔵文化財確認調査実施。
- 5月28日 第1回歩く博物館探索会（富丘地区）開催。
- 6月14日 谷外遺跡埋蔵文化財確認調査実施。
- 6月19日 「富士山」世界遺産登録3周年記念イベント「まちなか史跡めぐり」開催。
- 6月20日 埋蔵文化財センター開館2周年記念・富士山世界文化遺産登録3周年記念「富士宮の遺跡」展開催（6月26日まで）。
- 6月25日 「富士宮の遺跡の発掘と成果」講座開催。
- 6月30日 富士講現地調査実施（市内及び県外各所。10月28日まで。）。
- 7月12日 丸ヶ谷戸遺跡埋蔵文化財確認調査実施（7月13日まで）。
- 7月15日 大中里坂下遺跡埋蔵文化財確認調査実施。
- 7月23日 郷土資料館「大宮・村山口登山道」展開催（11月13日まで）。
- 8月15日 盆行事（川供養）調査実施（富士川・芝川流域。8月16日まで）。
- 8月17日 若宮遺跡埋蔵文化財確認調査実施。
- 8月20日 郷土資料館「大宮・村山口登山道」展展示解説実施。
- 8月23日 代官屋敷遺跡埋蔵文化財確認調査実施。
- 8月30日 第1回文化財保護審議会開催。
- 9月5日 第1回史跡富士山整備委員会開催。
- 9月7日 第1回史跡大鹿窪遺跡整備基本計画策定委員会開催。
- 10月3日 史跡「大鹿窪遺跡」埋蔵文化財発掘調査実施（12月28日まで）。

- 10月4日 野中中村遺跡埋蔵文化財確認調査実施。
- 10月11日 宝田遺跡埋蔵文化財確認調査実施。
- 10月13日 権現遺跡埋蔵文化財確認調査実施。
- 10月31日 第2回歩く博物館探索会（万野原新田地区）開催。
- 11月4日 郷土資料館展示物等くん蒸事業実施（11月6日まで）。
- 11月24日 内久子遺跡埋蔵文化財確認調査実施。
- 11月26日 「柚野の里まつり」で大鹿窪遺跡出土品展示と発掘調査現地説明会を実施。
- 12月3日 郷土資料館「わがまち 懐かしの風景」展開催（平成29年2月26日まで）。
展示解説実施。
- 12月6日 代官屋敷遺跡埋蔵文化財確認調査実施。
- 12月19日 大中里坂下遺跡埋蔵文化財確認調査実施（12月20日まで）。

〈平成29年〉

- 1月13日 どんど焼き・小正月行事調査実施（市内各所・富士市。1月14日まで）。
- 1月24日 第2回文化財保護審議会開催。
- 1月24日 第2回史跡大鹿窪遺跡整備基本計画策定委員会開催。
- 1月26日 文化財防火デー。
- 2月2日 ニノ宮遺跡埋蔵文化財確認調査実施。
- 2月2日 山本船久保遺跡埋蔵文化財確認調査実施。
- 2月22日 指定文化財保護対策事業完了（狩宿の下馬ザクラ、猪之頭のミツバツツジ、西山本門寺の大ヒイラギ）。
- 3月7日 寺内遺跡埋蔵文化財確認調査実施。
- 3月11日 第3回歩く博物館探索会（上柚野・猫沢地区）開催。
- 3月15日 『名勝及び天然記念物白糸ノ滝周辺整備報告書』刊行。
- 3月16日 第2回史跡富士山整備委員会開催。
- 3月18日 郷土資料館「食の民具」展開催（6月25日まで）。展示解説実施。
- 3月22日 代官屋敷遺跡埋蔵文化財確認調査実施。
- 3月24日 「精進川の大カシワ」静岡県指定天然記念物に指定。
- 3月27日 貴船町遺跡埋蔵文化財確認調査実施。
- 3月29日 「史跡富士山 人穴富士講遺跡調査報告書」刊行。
- 3月31日 発掘調査報告書『富士宮市の遺跡VI』刊行。